

ドッジビー権利元変更のお知らせと新権利元会社のご紹介
および新権利元会社と協会の交渉経緯の報告
ならびに双方の活動における協力関係に関する合意の報告

令和6年11月25日
一般社団法人日本ドッジビー協会
代表理事 小笠原 位

関係各位には日頃よりドッジビーの競技普及ならびに関連する活動にご理解・ご協力を賜っておりますことを感謝しており、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、表題の件ですがドッジビーブランドのルーツを辿りますと2000年初頭、株式会社ヒーロー工房が株式会社ヒーローに社名の変更をするとともにディスク事業のブランドをHerodiscに統一した時にディスク事業のメイン商品としてロゴマークの採用や複数サイズを展開、そして商標の登録など当時においての国産フライングディスクでは稀有とも言えるブランディングを図ったことに始まります。

その後、ヒーロー社より分離するなど社の紆余曲折がありました。直近の権利元である有限会社イノバー・ジャパンは、当初のブランディングに携わったメンバーが約25年にわたってドッジビーの製造・販売をはじめ、ブランド管理に携わってきました。

その結果、四半世紀を経た今も、変わることなく常に一定の支持を得るディスク商品としては国内最強ブランドに成長したことには誰もが異論はないものと認識しています。



そのドッジビーブランドの大きな転換として2024年1月1日にイノバー・ジャパン社のホームページにて権利元が移転した旨、発表されました。

新たにドッジビー権利元となった株式会社ラングスジャパンの概要は以下の通りです。

ドッジビー権利譲渡に関するお知らせ

2023年12月ラングスジャパンへのドッジビーの権利譲渡に伴い製造・販売をスタート。

ラングスジャパンとは

ブーメランの楽しさを日本に普及させるため1987年起業した会社です。

ほぼ同時期ラングスジャパンはドッジビーとブーメランの売り場を作り、販売による普及をスタート。

今後は日本ドッジビー協会主催の競技会にメーカーとして協力して

ドッジビーの更なる普及を目指していきたいと思っております。

ドッジビーのOEM生産や卸に関しましては下記へご連絡をお願いいたします。

株式会社ラングスジャパン 代表取締役小林美紀

〒155-0032 東京都世田谷区代沢 4-34-15

03-5430-9181

support@rangsjapan.co.jp

一般社団法人日本ドッジビー協会としてはその情報は発表以前に把握していましたが、ディスクの製造・販売などの権利において直接、間接を問わずに関わる立場にないことから発言することは控えて正式な発表を待つ、との判断をいたしました。1月1日の正式発表以降は、協会として様々な確認すべき事項があることから、ラングスジャパン社と数回の面談を重ねましたので、その概ねの経緯をお伝えいたします。

5月中旬、ラングスジャパン社と協会首脳が初の面談をおこない、挨拶を交わしました。お互いの状況を伝えることを主題に双方、前向きに協力関係を築くことを確認しました。

6月30日に開催された協会の年度総会および新年度の第1回理事会でラングスジャパン社と協会の面談について全理事に報告がされました。

7月中旬、2度目の面談で協会から主催行事の予定など具体的な普及活動の紹介をしましたところ、ラングスジャパン社より活動への協力のお申し出を頂戴いたしました。

今回の発表は権利元が移転したこと、およびに移転した先の株式会社ラングスジャパン様より協会活動へのご協力をいただくことになったこと、を関係各位へご案内することが主旨となります。

具体的な協力内容についての詳細は今後、双方の話合いによって進めることとなりますが現在、皆様にお伝えできる年度内での事項として年明け、2025年2月以降に開催する協会主催大会にご協賛をいただく予定です。

なお、最後になりますが旧権利元であった有限会社イノーバー・ジャパン様には長い間、ご理解・ご協力およびに多大なるご協賛を頂戴したことで今日、日本ドッジビー協会の存在があるものと考えており、この場を借りてあらためて御礼を申し上げたいと存じます。

本当にありがとうございました。